



## あなたも祝福されている

「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです。」

(ルカによる福音書1章45節)

マリアは天使から受胎告知を受けたあと、出かけて、ナザレからおよそ150キロの道のりにあるユダの町に行きました。親戚のエリサベトに会うためです。そこにはマリアを訪れた天使が言った言葉がありました。エリサベトと夫ザカリアの間には子どもがなく、二人とも年を取っていたのに、神は二人に子どもを授けて下さったというのです。マリアが天使の言葉を疑っていたわけではありません。堅く信じたのですが、それを確かめたかったのです。神様から祝福された人に会いたかったのです。

ここに一つ確かなことがあります。ナザレの町を出てゆく時、不安でいっぱいだったかもしれないマリアが、ユダの町に着いてエリサベトに会った時、喜びを分かち合うようになっていたということです。

出産が近づいてきたエリサベツのところに、六か月遅れで妊娠したマリアが訪ねて挨拶した時、この二人だけでなく、エリサベトの胎内の子供まで喜んでおどりました。マリアの挨拶をエリサベトが聞いた時、マリアはまだ自分に起こったことを話してはいません。それなのに、エリサベトの胎内の子が踊ったのです。マリアのお腹にイエス様がいることを感知して、喜んだわけですね。

ここでエリサベトが高らかに語った言葉は、彼女の中から出たというより、聖霊が語らせたものと考えられます。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。」

エリサベトはマリアよりずっと年上なのに、エリサベトはマリアの胎内にいる子をわたしの主と呼びます。だからマリアはわたしの主のお母さまなのです。エリサベトはマリアに

2019年12月発行

起こったことを知って、自分に与えられた役割を悟ったことでしょうか。それはマリアの不安や恐れを聞いてあげることです。ただ、そこに労苦があっても、これをはるかに超える喜びの中に溶けてしまっています。エリサベトとマリアの対話はすなわち神様への賛美になったことを、私たちは目にしています。二人の女性、それに胎児を含めて4人の姿には、神の祝福を受けた者の幸いがあふれています。

エリサベトの言葉、「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです。」はとても印象的です。これは「幸いなるかな、信じた者よ」というように訳すことも出来ます。…マリア、あなたは幸せです。なぜか、あなたは信じる事が出来るから。信仰を持っているから。…なぜ信仰を持っていたら幸いなのでしょう。それは、神様があなたに約束されたことを必ず実現して下さるから……と言うのです。

二人の女性が会うというのは平凡な出来事かもしれませんが。しかしそこには神の約束を受け取った人間がおり、それと共に新しいことが始まっています。山里も人々の暮らしも前と変わらないように見えます。しかし、古い世界は新しい世界に変わりつつあるのです。皆さんはこの情景から、何か思い描くことはありませんか。そうです。これは教会の姿なのです。昔から多くの人たちがマリアとエリサベトの出会いの中に理想の教会の姿を見してきました。…私たちは毎日曜日、教会に来て互いに挨拶をかわしますが、同じ挨拶でも、教会の内と外ではちがいます。…あなたは神様から恵みを受けています、私も恵みを受けてここに来ました。神様の言葉を信じる事が出来るあなたは幸せですね、私も幸せです。私たちそれぞれに語られた神様の言葉は必ず実現します。おめでとう！

マリアとエリサベトが奏でた賛美の歌、その中に私たちの広島長束教会もあります。私たちも自分の中にみ言葉を受け入れて、宿した者たちだからです。

(2019年12月15日の礼拝説教より)

牧師 井上 豊